

特 集

側方リンパ節郭清の すべて 開腹からロボット手術まで

下部進行直腸癌における側方リンパ節転移頻度は 20% と報告され、側方リンパは直腸癌における決して無視のできない主要リンパ経路である。近年では JCOG0212 の試験結果を踏まえた大腸癌治療ガイドラインの改訂も行われた。また、これまで側方リンパ節郭清に否定的であった諸外国においても、CRT 後の再発エビデンスの蓄積やロボット手術の普及に伴い、側方リンパ節郭清が注目されるようになっている。一方で、側方リンパ節転移診断や適応に関して controversial な面も多く、また側方リンパ節郭清手技の難易度も高く、一般病院や若手外科医に敬遠されがちな手技であるのも事実である。そこで本特集では、この分野のエキスパートにわかりやすく解説をいただいた。本特集を通して直腸癌に対する側方リンパ節郭清の理解を深めていただければ幸いである。